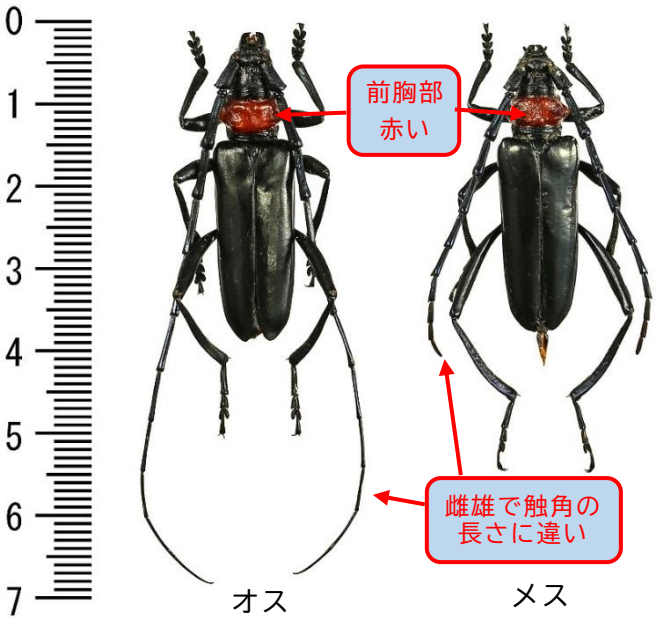
クビアカツヤカミキリ対策にご協力ください

クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモなどのバラ科樹木に寄生して食い荒らしてしまう特定外来生物です。**寄生された樹木は衰弱し、枯れてしまう**恐れがあります。市内のサクラ等を守るために、駆除のご協力をお願いします。

〈クビアカツヤカミキリ(成虫)の特徴〉

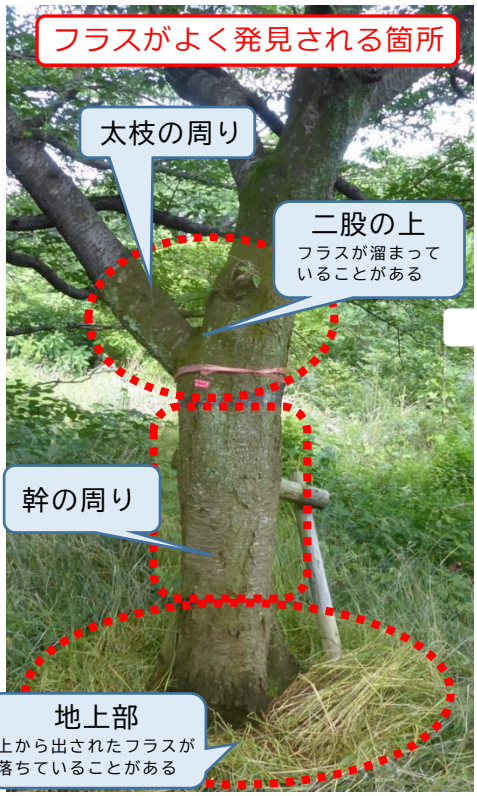


【体　長】25～40mm
【発生期】6 月～8 月頃
【特　徴】
・全体は青みを帯びた黒色でつやつやした光沢がある
・前胸部（クビのように見える部分）が赤い
・つかむと強い匂いを放つ

※見つけたらその場で駆除してください！！
（生きたままの運搬や飼育、野外に放すこと等は法律で禁止されています。）

〈寄生された樹木の見分け方〉

幼虫は、樹木内部を食べ進めながら成長し、およそ 2～3 年間かけてさなぎになります。寄生された樹木からは、「フラス」（幼虫が食べた木屑と糞の混合物）が排出されます。幼虫は樹木内部にいて外から見えないため、このフラスが重要な目印になります。



排出直後のフラスは、かりんとう状につながっていることが多いです。

○クビアカツヤカミキリ
通報窓口を開設しました！

お手持ちのスマートフォンや PC から下記二次元コードまたは URL よりアクセスし、写真を付けて情報提供にご協力ください。
【URL】
https://logoform.jp/form/iapr/1046210

※フラス（疑いも含めて）や成虫を確認した場合は、以下までご連絡ください。
八王子市　環境部環境保全課　自然環境・庶務担当　電話 042-620-7268